

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	奈良YMCAことりクラブ			
○保護者評価実施期間	2026年1月13日		～	2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～	2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月5日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	大きな体育館で遊べるのは、とても好評です。また、期間限定ではありますが、プールあそびもできるのはほかの事業所にはなかなかないかと思います。ピニールプールではなく大きな室内プール遊んでいます。	色んな器具がありますので、取り入れることで楽しい運動遊びができます。粗大運動を多く取り入れて、段々と手先の器用さへつながるようにすすめたいと思っています。	運動だけでなく、自然体験や野外活動も体験させたいと思っています。
2	ひとり一人にあった、アプローチで寄り添った支援を心がけている。	小集団ですので、みんなで同じことしたり個別に課題を与えたりできるので臨機応変に対応しています。送迎がないため、お迎え時に話せる機会がありますので、学校やご家庭の様子も聞けますし、連絡帳にも書いてくださると様子伝わってきます。	引き続き、子どもにも保護者にも寄り添い信頼関係を築く。
3	楽しい場所であることを心がけています。	プログラムを、遊びを通して子どもたちが退屈せずに参加できるものを工夫して企画しています。	学校でいやなことがあって気分が落ち込んでも、おそろへは行きたいと思ってもらえる環境設定、関係を築いていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	言語聴覚士や作業療法士を配置できていない	新しく採用するには難しい。	現スタッフで可能な限り、資格取得を検討。また、該当する研修に参加し、知識を習得するようにして支援に繋げるようにしている。
2	教室が3階にあるため、階段の移動が危険	階段を上り下りで、踏み外しや転倒防止に注意する	手すりを持つように促していることと、年齢に応じて必ず、大人が手を繋いで移動するようにしている。
3	保護者支援プログラムが実施できていない	立案・企画・実施できる職員の減少	外部講師を招いてまでいかなくとも、保護者同士が集まってお互いの悩みを打ち換えて共感したりできる、ざっくばらんな時間でも、繋がる機会かと思っていますので、検討します。